

「アジアにめざめたら：アートが変わる、世界が変わる 1960-1990年代」展

激動のアジアをアートで体感！ 知的好奇心を刺激する展覧会 ～当時のアジアの文化・社会状況を伝える関連イベントを続々開催！ 作品が生まれた背景を 解説する小冊子を配布するほか、新たに2作品が写真撮影OKに！～

東京国立近代美術館(東京都千代田区)では、2018年10月10日(水)から12月24日(月・休)まで、「アジアにめざめたら：アートが変わる、世界が変わる 1960-1990年代」展を開催しています。

かつてないスケールで、アジア各地の現代アートの黎明期である1960～90年代に焦点をあてる本展は、日本、韓国、シンガポールの国立美術館3館と国際交流基金アジアセンターによる共同企画です。10を超える国と地域で、激動の時代に生まれた挑戦的かつ実験的な約140点の作品を一堂に展示。

本展をより楽しんでいただくための工夫を凝らしています。

注目ポイント

1. 会場内では、2つの作品が写真撮影OKに！
2. 「タイの地獄寺」を語るトークイベントなど、当時のアジアへの理解を深める多彩な関連イベントを続々開催
3. 作品が生まれた背景がよくわかる小冊子を無料で配布！
4. この秋、アジアの現代アートを取り上げる展覧会が複数開催

【 1. 会場内では、2つの作品が写真撮影OKに！ 】

タイトルにも注目の2作品が撮影OKとなりました。ひとつはインドネシアの作家・FX ハルソノによる銃の形をしたお菓子のクラッカーを使った作品(写真左)。もうひとつは本展レセプションでパフォーマンスを披露したシンガポールのタン・ダウの作品(写真右)。犀の角が漢方薬の素材として珍重されているために多くの犀が密猟され、絶滅に瀕しているという状況を主題にしたものです。



左:FX ハルソノ《もしこのクラッカーが本物の銃だったらどうする?》1977-2018年、作家蔵

右:タン・ダウ《彼らは犀を密猟し、角を切つてこのドリンクを作った》1989年、ナショナル・ギャラリー・シンガポール蔵

【 2. 関連イベント、続々開催 】

「タイの地獄寺」という60～70年代に市井の人々によって作られた奇妙な造形物を紹介するトークイベントや、本展出品作品でもあるパフォーマンス集団・ゼロ次元の「いなばの白うさぎ」のフルバージョン上映ほか、今につながるアジアの姿を掘り下げる様々な関連イベントを予定しています。

▼スケジュール ※都合により変更になる場合があります。詳細は決まり次第公式HP、公式SNSなどでお知らせします。

・11月25日(日) 日本のパフォーマンス集団・ゼロ次元の映像作品「いなばの白うさぎ」フルバージョン上映&トーク

ゲスト:細谷修平(ゼロ次元・加藤好弘アーカイヴ)

・12月2日(日) 『タイの地獄寺』とは何ぞや?!』トーク&映像紹介 ゲスト:椋橋彩香(研究者)、徳山拓一(森美術館アソシエイト・キュレーター) :

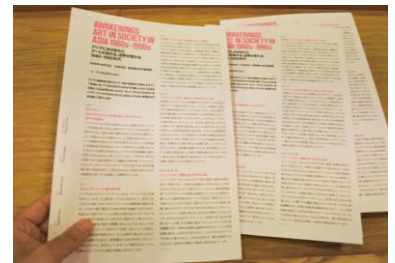
先月10月15日に刊行された書籍『タイの地獄寺』の著者・椋橋彩香と、徳山拓一を迎えて、60～70年代に市井の人々により作られた奇妙な造形物「タイの地獄寺」の魅力や、当時の現代アートシーンとの共通点、社会情勢との呼応など、映像とともに存分に語っていただきます。



書籍『タイの地獄寺』
(椋橋彩香・著)

【 3. 作品が誕生した背景を解説する小冊子を無料配布！ 】

会場入口では、63点の作品解説をまとめた10頁の小冊子を配布。じっくり作品と向き合う手引きとして活用いただけます。



作品解説の小冊子。

【 4. この秋、アジアの現代アートを取り上げる展覧会が複数開催 】

この秋は、本展を含めアジアの現代アートを取り上げる展覧会が複数開催されています。国内では、東京都写真美術館「愛について アジアン・コンテンポラリー」(11/25 まで)、森美術館「カタストロフと美術のちから展」(1/20 まで)など。また韓国では、3つのビエンナーレ(釜山・光州ともに11/11 まで、ソウル 11/18 まで)など。すでに終了したものも含め、アートをとおしてアジアの歴史・文化を多面的に見直す絶好の機会となっています。

「アジアにめざめたら:アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代」開催概要

会期: 2018年10月10日 [水] - 12月24日 [月・休]

会場: 東京国立近代美術館 (東京都千代田区北の丸公園 3-1)

開館時間: 10:00-17:00 金曜・土曜は 20:00 まで (いずれも入館は閉館 30 分前まで)

休館日: 月曜日 (12月24日は開館)

アクセス: 東京外口東西線「竹橋駅」(1b出口) 徒歩 3 分

観覧料: 一般 1,200 円(900)、大学生 800(500)円

※()内は 20 名以上の団体料金。いずれも消費税込。

※高校生以下および 18 歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1 名)は無料

※当日に限り、「MOMA Tコレクション」(4-2F)、「遠くへ行きたい コレクションによる小企画」(2F ギャラリー4)、

「日本・スウェーデン外交関係樹立 150 周年 インゲヤード・ローマン展」(工芸館 12/9 まで)もご覧いただけます。

主催: 東京国立近代美術館、国際交流基金アジアセンター、韓国国立現代美術館、ナショナル・ギャラリー・シンガポール

お問い合わせ: 03-5777-8600 (ハローダイヤル) <http://www.momat.go.jp> (ホームページ)

※詳細はホームページより、「アジアにめざめたら:アートが変わる、世界が変わる 1960-1990 年代」プレスリリースをご確認ください。



報道関係のお問い合わせ先

「アジアにめざめたら」広報事務局 (ユース・プランニング センター内)

担当: 大山、岩川

〒150-8551 東京都渋谷区渋谷 1-3 -9 ヒューリック渋谷一丁目ビル 3F

TEL:03-5467-8638 FAX:03-3499-0958 E-MAIL:asia@ypcpr.com